

はじめに

平成 26 年 3 月

酒巻 和子

昭和音楽大学短期大学部の教員は、平成 21～22 年度に専任教員全員による共同研究を行い、平成 23 年 3 月に『共同研究 短期大学における実技教育における目的と手法についての研究報告書』を発行しました。その後平成 23～25 年度にも、カリキュラムの検証やレッスンと授業のさらなる充実について全員で意見交換を継続するために、定期的に教育研究会を開催してきました。この『短期大学における教育目標と学習成果についての研究』は、その成果を報告書の形でまとめたものです。

平成 23 年度からの 3 年間、本学の教員は 3 つのポリシーと学習成果について確認し、それぞれの立場で本学の特色ある教育について考えてきました。この間にコースの改編も行いました。そして専門分野を超えて話し合う中で、個々の教員の取り組みは小さなものであっても、組織的に連携し理念を共有することによって短期大学という教育機関全体の教育力は向上し、その教育目標を達成できるのではないかと確信しました。

今回の報告書には、短期大学部専任教員全員が個人あるいはグループで執筆しているほか、前回より継続して常時この研究会に参加している併設大学の教員 2 名からも、それぞれ前回報告書からの続編としての特別寄稿、および専門分野における共同執筆という形で協力を得ています。この報告書作成を通じて教員一同は互いの教育研究活動について改めて認識し、新年度からも課題を共有しながら協力しあって本学の教育目標の達成に努めたいと気持ちを新たにしています。